
～環境に優しい安全で 活気あるまちづくりを目指して～



21世紀は環境の世紀と言われ、地球温暖化や化石燃料の枯渇などの地球環境問題が大きくクローズアップされており、世界各国や日本国内においてCO₂の排出抑制や石油代替エネルギーの開発等、深刻化するエネルギー・環境問題に対応した様々な取り組みがなされております。

館山市では、平成13年度を初年度とする館山市基本計画において、「環境負担の少ない生活への転換を図る上で、太陽光や風力などの自然エネルギーの利用について調査・研究を行う」としており、石油代替エネルギーの導入や災害時のエネルギー確保などは地域としても積極的に取り組まなければならない重要な課題であると認識しております。

このような課題に対応するため、地域内に存在し利活用が期待される太陽光や風力などの自然エネルギーをはじめとする「新エネルギー」の導入促進の基本方針となる「館山市地域新エネルギービジョン」を策定いたしました。

本ビジョンでは、館山市の有する温暖な気候や豊かな自然環境をまちづくりに活かし次世代へ継承するために、「人をエネルギーに！」「太陽と海を活かす！」「環境負荷を低減する！」との3つの基本方針を掲げ、新エネルギーの導入を促進し、環境に優しい安全で活気あるまちづくりを目指すものとしております。

館山市といたしましても、本ビジョンの策定を契機に、市民や事業者の皆様のご理解とご協力を賜りながら、環境に優しいまちづくり、災害に強いまちづくり、新産業の立地などによる地域経済の活性化などに鋭意取り組んでいきたいと考えております。

最後に、本ビジョンの策定にあたり貴重なご意見を賜りました前野委員長をはじめとする策定委員会の委員の皆様、事業者ヒアリング調査や市民アンケート調査にご協力頂きました市民の皆様並びに関係機関の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも館山市の新エネルギー導入やその他あらゆる取り組みに対し、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年2月

館山市長 辻 田 実

館山市地域新エネルギービジョン策定にあたって

21世紀に入り、地球温暖化問題をはじめとして、私達の周りの環境と自然が地球全体として連鎖循環的に私達の日常活動と強く関わっていることが一層明らかになってきました。現在、我が国でも京都議定書（COP3）と略称される温室効果ガス削減採択目標に向かって、各国と歩調を合わせての取り組みが進められておりますが、同時に、水素やメタンガスなど炭素の少ない燃料の適用と燃料電池開発の急速な展開など、エネルギーの分野において人類は今まさに産業革命以来の激変期を迎えようとしています。

このような時代の変化に際して、国内の各自治体、市民の立場からの新エネルギーに対する考え方と取り組み方が重要になっておりますが、館山市では平成13年度からの館山市基本計画における「輝く人・美しい自然・元気なまち館山」の基本理念に沿って、このたび「恵まれた自然資源の活用」「地球環境と地域環境の保全」「市民参加と協働」を基本的な視点として、地域特性に応じた自然エネルギーの利用など新エネルギーに関するビジョンを策定いたしました。館山市地域新エネルギービジョン策定においてはビジョン実施主体や短期、中期、長期の実施時期を想定して、海辺のまちづくりにおける新エネルギーの活用研究やエコスクールの推進、あるいは太陽光発電に対する上乗せ補助事業プランなど様々なプロジェクトが考えられました。これらのビジョン・プロジェクトは今後、我が国の施策や財政予算とも歩調を合わせる形で、地域の活性化も視野におきながら、自治体および市民の皆様に無理のない形で実を結んで行くべきものと考えております。

また、館山市は首都圏に隣接する数少ない優良港湾を有し、かつ災害に強い立地条件を備えていますので、首都圏における災害時の防災拠点・エネルギー拠点としての役割を担うことも重要であるといえましょう。

本ビジョンの策定におきましては、辻田 実 館山市長のご任命のもとに委員長として活動するに際し、策定委員会の皆様をはじめ関係機関の皆様に多人なご協力を頂きました。特に、日本大学生産工学部助教授 長井 浩 先生には、副委員長として、また私の不足する専門分野の学識経験者として貴重なご意見及び識見をいただきました。長井先生をはじめとする策定委員会の皆様の有益なご議論・ご示唆の蓄積の結果、このビジョンが価値と夢のあるものとなりましたことを感謝申し上げます。

平成15年2月

館山市地域新エネルギービジョン策定委員会委員長

千葉大学工学部都市環境システム学科教授 前野 一夫

報告書目次

第1章 地域新エネルギービジョン策定の背景	1
1. ビジョン策定の目的.....	1
2. ビジョン策定により期待される効果.....	1
3. エネルギーを取り巻く環境.....	2
4. 国の新エネルギーに関する動向.....	4
第2章 館山市の地域特性	6
1. 社会経済特性.....	6
2. 環境特性.....	23
3. 土地利用特性.....	26
第3章 二次エネルギー需要量	29
1. 二次エネルギー需要量算出の考え方.....	29
2. 二次エネルギー需要量の算出.....	30
3. 温室効果ガスの発生量予測.....	33
第4章 新エネルギー賦存量	34
1. 新エネルギー賦存量.....	34
2. 風力エネルギーの調査.....	37
第5章 新エネルギー導入事例・技術開発動向	46
1. 新エネルギーの技術開発動向.....	46
2. 新エネルギー導入事例.....	55
3. 千葉県内の新エネルギー導入実績.....	67
第6章 意識調査結果	68
1. 市民意識調査結果.....	68
2. ヒアリング調査結果曲.....	72
第7章 新エネルギー導入の基本方針	79
1. 新エネルギー導入基本方針検討の前提条件.....	79
2. 新エネルギー導入の基本的な考え方.....	86
3. 新エネルギー導入の基本方針と将来のまちの姿.....	88
4. 新エネルギー導入の目標と施策方針.....	90
第8章 新エネルギー導入行動計画	93
1. 新エネルギー導入行動計画の立案.....	93
2. 新エネルギー導入行動計画の検討.....	95
第9章 新エネルギービジョンの推進	109
1. 推進体制.....	109
2. 今後の取り組みと課題.....	112
第10章 参考資料	113
1. 地球温暖化対策推進大綱の概要.....	113
2. 各新エネルギーの賦存量・利用可能量.....	116
3. 風力エネルギーの調査.....	124
4. 新エネルギー導入行動計画の詳細検討.....	131
5. エコステーションの設定地域検討.....	139
6. クリーンエネルギー船の可能性調査.....	140
7. 新エネルギー特区.....	141
8. 菜の花エコプロジェクトの概要.....	143
第11章 添付資料	144
1. 調査体制.....	144
2. 議事日程と議事.....	146
3. 新エネルギー導入等に関する支援制度一覧.....	147
4. ワークショップ提言書.....	151